

平成 28 年度 平成在宅総合支援センター 事業報告

28 年度は、介護支援専門員が 3 名増員し、島内全域を対応できる体制が整いました。医療系の介護支援専門員により、医療ニーズにも対応できる体制がとれるようになりました。

事業内容としまして、要支援・要介護認定を受けた独居及び、高齢者夫婦の世帯・障害高齢者の支援を行っています。また、要介護・要支援認定の申請の支援、状態に応じた区分変更申請の支援を行いました。行政・地域包括支援センター・社会福祉協議会及び地域の民生委員や病院・医院などと連携・協働し、業務に取り組んでいます。

当事業所は、淡路市、洲本市、南あわじ市の三市となる淡路島内全域の対応を行っており、利用者・家族の切なる思いである「住み慣れた自宅で生活していきたい」という思いに寄り添いながら、支援を行っていきたくと考えております。

特に、最近では重度の認知症の方を介護されている家族が増加し、高齢化社会と共に介護者の高齢化も問題になっています。淡路市一宮地区での「認知症家族を支える家族会」へ参加し、必要な地域との情報交換も積極的に行ってきました。要介護者を抱える家族にも社会資源として紹介して行きたいと思っております。

平成 29 年度も淡路島内三市・各社会福祉協議会・島内の介護保健施設、地域の民生委員及びボランティア、地域住民、主治医、介護サービス事業所などと連携に努めます。特に入院時情報連携シートや退院・退所情報提供書などを用い、医療との連携を密にとることで、利用者が住み慣れた地域での生活が継続できるように努めます。また、在宅介護を受けている方、介護されている家族の相談対応も随時行います。早期対応により在宅生活を継続できるように支援していきます。

《平成 28 年度事業実績》

1. 居宅利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	124	126	120	125	130	127	130	137	140	133	138	138
新規利用	2	4	12	6	8	4	5	8	8	3	6	3
予防委託	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3

2. 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3
要介護 1	46	46	43	45	48	48	52	57	59	58	62	63
要介護 2	46	47	43	41	42	44	41	42	44	40	41	40
要介護 3	19	19	20	26	25	21	25	28	26	25	26	26
要介護 4	13	13	13	13	13	13	12	9	10	9	8	8
要介護 5	1	1	1	0	2	1	0	1	1	1	1	1